

① 農業の振興について

国においては、「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律が平成27年9月4日に公布され、平成28年4月1日に施行されました。同法における農業委員会等に関する法律の一部改正では、農地利用の最適化を促進するために改正が行われ本村でも本年度において、法律の改正に伴う新しい農業委員の任命や農地利用最適化推進委員を新設し、更なる農地利用の最適化に向けて取り組んでまいる所存であります。議員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本村の農業振興については、産地認定された品目の安定生産を図る取り組みを推進するとともに、長野県川上村と連携した「シンカプロジェクト」のレタ

スや新品目のアボカド、パイナップルの試験栽培を行い新たな品目の産地化に向けた取り組みを進めてまいります。また、引き続き災害に強い施設の導入や農地防風林の普及に努めると共に、「恩納村赤土流出防止対策協議会」を設置し、自然環境保全に配慮した農業を推進してまいります。



また、「恩納村地産地消推進協議会」の設立と「恩納村地産地消推進計画」を策定し、観光関連産業との連携強化に努めてまいります。

畜産業においては、近年の子牛価格の高騰に伴う肥育農家の厳しい経営の改善を図るために、「優良肥育子牛導入支援補助金」や沖縄伝統食文化の継承や普及に向けて「優良ヤギ生産奨励補助金」を新設し畜産業の振興に努めてまいります。

② 水産業の振興について

昨年度においては、モズク・海ぶどうに加えアーサが拠点産地に認定されたことは、本村水産業の活性化に繋がるものご期待致しているところであります。また、「全国豊かな海づくり大会」においては、生産者・消費者・民間企業・恩納村が連携したサングの再生事業が環境大臣賞を受賞いたしました。これまでの

活動を更に発展させ、本村の豊かな海を国内外に発信する「サングの村宣言」に向けた取り組み等を「里海づくり推進協議会」や関係機関と検討してまいります。水産物の安定供給を図るために、海ぶどう養殖に係る取水管の延伸や前兼久流通加工施設の改修を行い安定した水産物の確保に努めてまいります。

恩納漁港においては、漁港機能施設の整備を本格的に進めると共に、各漁港における適正な施設の保全・維持管理に努め、更なる水産業の振興に努めてまいります。

③ 商工・観光業の振興について

① 商工業の振興について
商工業の振興につきましては、本村事業所のほとんどが中小企業・小規模企業であり、産業の振興や雇用の確保にとごまらず、魅力と活力あるむらづくりになくなくてはならない存在です。中小

④ 沖縄科学技術大学院大学の推進について

OIST施設整備として、第4研究棟工事着工によります職員・学生等の増加が予想され、宿舍の整備が急務となっております。沖縄県と連携し支援してまいります。また、人材育成事業である「子ども科学教室」や村内中学校出前授業などにつきましては、引き続き取り組んでまいります。

② 観光業の振興について

平成28年の沖縄の入域観光客は約861万人で、4年連続で過去最高を更新しており、本村においても好調に推移し、今後新たなホテル建設を含め観光客の増加が期待されます。

観光関連事業につきましては、観光協会と連携のもと、沖縄振興特別推進交付金を活用し、これまで実施してきました「美ら海花火大会」や「旅の案内人



置事業」、「恩納村観光物産展事業」及び、新たなイベントとして「サンセットビーチフェスタ」を実施してまいります。

夏のイベント「うんなまつり」や、冬のイベント「恩納村産業まつり」につきましては、観光振興及び地域活性化を図るとともに、村民はもとより、観光客にも満足してもらえるような企画を実施してまいります。

③ 雇用対策について

雇用対策につきましては、引き続き公共職業安定所と連携し、村内及び近隣市町村の求人情報を役場内に掲示、紹介していくとともに、村内ホテル等における人手不足に対応するため、地域住民の雇用や元気な高齢者の短時間就労等による対策について関係機関と協議してまいります。

5 生活環境

① 自然環境・景観の保全・育成について

① 海岸の保全管理について
本村の海岸は、観光立村を支える貴重な資源であると同時に、村民の憩いと安らぎの場として、引き続き自然と共生する海岸環境づくりを推進してまいります。